

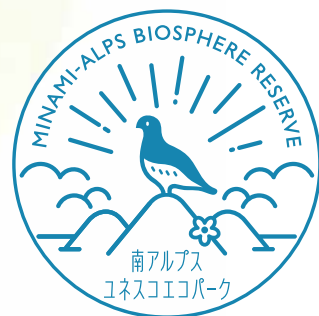
南アルプスユネスコエコパーク 管理運営計画 《静岡市域版》

普及
啓発版



静岡市

県道井川湖御幸線



はじめに

静岡市の最北に位置する南アルプスは、静岡、山梨、長野の3県10市町村に跨がり、3,000m級の山々を有する日本有数の山岳地帯として、豊かな自然環境を育み、その恵みを井川地域のみならず、すべての市民に与える、自然・人・文化・経済の源です。

平成26年6月、南アルプスの自然環境と、共に歩んできた地域の歴史・文化などが世界

に認められ、ユネスコエコパークに登録されました。この登録により、本市に新たな宝が生まれたと同時に、世界レベルの自然環境とそこで育まれた地域資源のすばらしさ・価値を将来に受け継いでいく責務を担うことになりました。

本計画は、関係10市町村で進める南アルプス全体の理念を踏まえつつ、本市が目指す南アルプスユネスコエコパークのあり方と施策の方向性を示すものです。

南アルプス、井川地域の自然が市民の豊かな心を育み、自然がもたらす恵みに感謝することで、人と自然が共に歩むことのできる持続的な地域社会の発展を目指していきます。

指定区域



※点線内が静岡市域

登場人物の紹介



ゆたか
南 豊(70歳)
井川地域在住の物知りおじいちゃん。



めぐみ
南 恵美(20歳)
豊の孫。静岡市内の大学に通う大学生。

目 次

- はじめに 登場人物の紹介 1
- 1. ユネスコエコパークって何? 2
- 2. 南アルプスユネスコエコパークってどんなところ? 3
- 3. 静岡市の登録地域の特徴 3
- 4. ユネスコエコパークを継承するために 4
- 5. どんな取組をするの? 5
- 6. 魅力ガイド 13

1. ユネスコエコパークって何?



ユネスコエコパークは、自然環境の保全と人間の営みの両立に取り組んでいる地域として、ユネスコ(国際連合教育科学文化機関)が認める世界的な地域のことじゃ。

豊かな**自然**と私たちの**暮らし**はつながっている



だから…



自然と暮らしの**バランス**が重要



ユネスコエコパークをずっと守っていくためには、3つのことに取り組んでいくことが大切じゃ。

1. 貴重な動物や植物、美しい自然景観をずっと**守っていく**
2. 自然環境を守るための**調査・研究を行い**、自然体験やエコツーリズム等を通じて自然や地域の文化を**学び、伝えていく**
3. 豊かな自然や地域の産業、文化等を活かした取組を活性化し、**地域を発展させていく**

自然や歴史、伝統文化をよく理解することが、自然を守ること、地域を元気にすることにつながるのね。



もっと詳しく説明すると・・・

3つの機能

生物多様性の保全

多種多様な動植物、自然、景観により形成される生物多様性が存在し、これが維持されていること



学術的研究支援

生物多様性を保全するための調査や研究が行われ、自然や歴史文化に関する環境教育、研修等の場があること



経済と社会の発展

自然環境や地域の文化等を活かした取組により、地域社会の持続的発展が促進されていること



ユネスコエコパークに必要な3つの働き(機能)は、

- ①生物多様性の保全の機能
 - ②学術的研究支援の機能
 - ③経済と社会の発展の機能
- と言われています。

この3つの機能が、影響し合い、それぞれの機能を高めます。

2. 南アルプスユネスコエコパークってどんなところ？



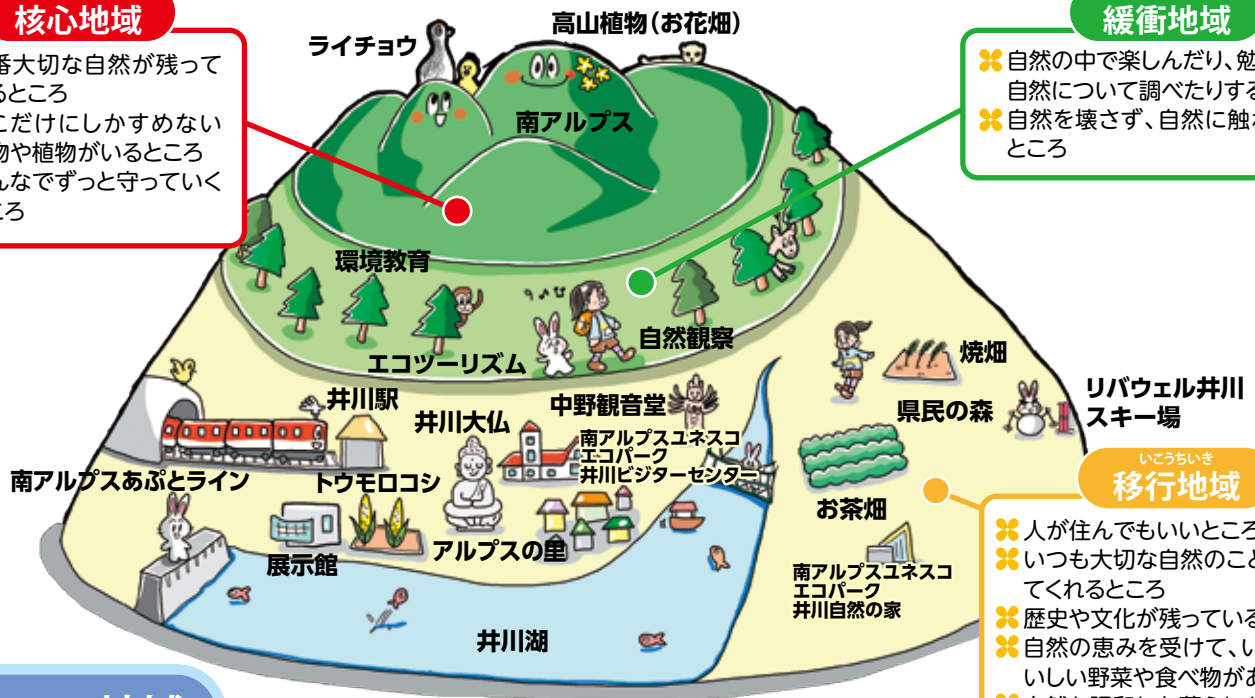
ユネスコエコパークは、取組を効果的に進めるため、「核心地域」、「緩衝地域」、「移行地域」の3つの地域に分けているんじゃ。各地域が、それぞれの特徴を活かした役割を果たすことで、“自然と暮らしのバランス”を保っているんじゃ。

かくしんちいき 核心地域

- ❁ 一番大切な自然が残っているところ
- ❁ そこだけにしかすめない動物や植物がいるところ
- ❁ みんなでずっと守っていくところ

かんしょうちいき 緩衝地域

- ❁ 自然の中で楽しんだり、勉強したり、自然について調べたりするところ
- ❁ 自然を壊さず、自然に触れ、楽しむところ



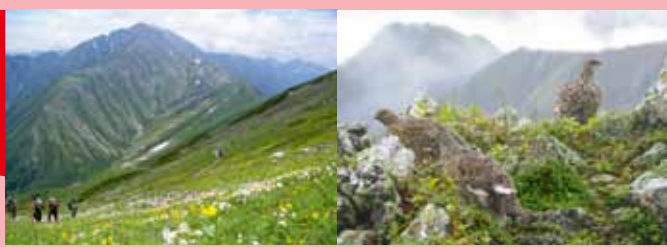
いこうちいき 移行地域

- ❁ 人が住んでもいいところ
- ❁ いつも大切な自然のことを見守ってくれるところ
- ❁ 歴史や文化が残っているところ
- ❁ 自然の恵みや食べて、いろんなおいしい野菜や食べ物があるところ
- ❁ 自然と調和した暮らしがずっと続いているところ

3つの地域

3. 静岡市の登録地域の特徴

自然



- 氷河の影響を受けて形成された氷河地形(カール、モレーン)
- 世界最速レベルの山体の隆起(4mm/年)
- ライチョウや高山植物など、氷河時代から生息・生育する氷河遺存種
- V字谷、線状凹地、崩壊地形、穿入蛇行などの独特な景観
- 森林限界の標高が高く(2,700m程度)、植生の垂直分布が明瞭

調査・教育



- 国、県、市、NPO団体等による高山植物の保護活動の実施
- ライチョウの生息状況調査の実施
- 自然環境、生活環境等の各種調査の実施
- 南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家を中心とした教育・体験プログラムの展開
- 地域住民によるエコツーリズムの実施

地域資源



- 歴史…中野観音堂、割田原遺跡、金山跡、井川神社、大日古道、龍泉院
- 伝統行事…ヤマメ祭り、井川神楽、ヒヨンドリ
- 食文化…雑穀を使った伝統食、はちみつ(養蜂)、高原野菜(トウモロコシ、キャベツ等)、焼畑農業
- その他…ヤマイヌ信仰、てしまんく、温泉、廃線小路、井川メンパ、渡船

4. ユネスコエコパークを継承するために



南アルプスの自然は、おいしい水や空気、歴史、文化、暮らしなど、様々な“恵み”を与えてくれている。だから、南アルプスの自然環境を守ることは、とても大切なんじや。
自然と上手に付き合いながら、地域を発展させていくことが、将来にわたって南アルプスを守ることにつながるんじや。

基本理念



南アルプスユネスコエコパークでは、3,000m級の山々と深い谷が育んできた自然景観や動植物、自然と共に暮らしてきた地域の歴史文化を「高い山、深い谷が育む生物と文化の多様性」と表現しています。

私たちの生命、自然、文化の源である南アルプスをいつまでも守り受け継ぐため、自然環境の保全を第一に考え、それを支える人や地域を豊かにし、自然の恩恵を活かした魅力あるまちづくりを進めていきます。

基本方針の柱

守る

自然環境の保全

- ライチョウや高山植物などの貴重な動植物の保護
- 自然環境・景観への配慮
- 市民、事業者、関係団体、専門家、行政等の連携強化



調べる 学ぶ

調査と教育

- 自然環境や生活環境のモニタリング
- 環境保全意識の醸成
- 地域の自然や歴史、文化を学ぶ環境の充実・整備



活かす

地域の持続的な発展

- 地域の魅力の磨き上げ
- 地域を担う人材の育成
- 交流人口の増加
- 交通アクセスの向上



伝える 管理する

理念の継承と管理運営体制の構築

- 国内外への情報発信
- 各主体の連携による管理運営組織の構築



10市町村の共同による自然環境の保全と利活用

南アルプスユネスコエコパーク 基本合意書

- 南アルプスの自然環境保全
- 南アルプス山麓の地域間交流の拡大による地域活性化
- 南アルプスユネスコエコパーク憲章の策定
- 各地域の情報発信
- 南アルプスユネスコエコパーク地域の永続的な管理運営体制の確立

平成25年8月17日締結

この合意書の締結により、10市町村(★)の強い結束と連携が約束されたんじや。



★静岡県: 静岡市、川根本町
山梨県: 韮崎市、南アルプス市、北杜市、早川町
長野県: 飯田市、伊那市、富士見町、大鹿村

5. どんない組をするの？



南アルプスの自然環境の保全

つながりを意識した一体的な保全

- ▶ 連携・協働体制の強化
- ▶ 来訪者のルールづくりと啓発活動の推進

高山帯から山麓に広がる自然環境の保全

- ▶ 高山植物の保護に向けた取組の推進
- ▶ ライチョウの保護に向けた取組の推進
- ▶ 自然環境の保全と生態系バランスを考慮した保全手法の検討・実施
- ▶ 自然景観への配慮
- ▶ 新たな開発等への対応

南アルプスから駿河湾へとつながる自然の恵みがあることで、われらは暮らしを営むことができている。みんなが自然の素晴らしさ、大切さを理解して、自然を守るために何ができるのか、一人ひとりが考えて行動することが、南アルプスの自然を守ること、受け継いでいくことになるんじゃないよ。



南アルプスの自然を守るために…

静岡市南アルプスユネスコエコパークにおける林道の管理に関する条例

林道周辺の森林が有する多面的機能及び自然環境の保全等を図るため、環境と調和した健全な林道の利用を確保します。

静岡市オクシズ地域おこし条例

地域住民が安全安心に住み続けることができる地域社会を実現し、地域資源の宝庫を次代に継承します。



林道の管理や地域振興を進める時も、自然を守ることを意識しているのね。

南アルプスの自然を守るための主な取組を紹介するぞ。



主な取組

来訪者のルールづくりと啓発活動の推進

- 国、県、10市町村、関係団体等と協力し、南アルプス全体の統一ルールづくり
- 法令や各種ルール等の普及啓発の推進

統一した道標があると安心ね



南アルプスを守るために必要なルールを、みんなに知ってもらおうことが大切じゃ。



お花畑のマナーってどんなこと？



主な取組

高山植物の保護

- 防鹿柵の設置等による保護対策の推進
- 保護活動の担い手の育成

<お花畑の変化>



1976年 昭和51年8月上旬
写真:南アルプス高山植物
保護ボランティアネットワーク



2011年 平成23年7月
写真:川島佑貴子



1979年 昭和54年7月30日
写真:増澤武弘



2010年 平成22年7月25日
写真:鶴岡一博

最近の地球温暖化で積雪量が減り、ニホンジカが高山帯にまで登って来るようになって、高山植物が食べられてしまうんじゃ。
一度失われた自然は、簡単には戻らない。継続した保護活動が必要じゃ。



主な取組

ライチョウの保護

- 生息状況や捕食者等の調査の実施
- 国や関係機関との連携による、総合的な保護対策の検討



ライチョウって、夏・秋・冬に羽が抜け変わって、色
が変化するのよね。

色の変化は、外敵から身を守る保護色と言わ
れておる。

南アルプスでは生息数が減っているんじゃ。
原因の解明と保護対策が必要じゃな。



ライチョウ

- ・ 国の特別天然記念物
- ・ 国内希少野生動物種
- ・ イザルガ岳(静岡市)が生息地の世界の南限

主な取組

新たな開発等への対応

- 自然環境や生活環境に配慮した事業の実施と事業者への適切な指導
- 事業活動とユネスコエコパークの取組との整合



開発って…道路をつくったり、新しく施設
を建てたりってこと?

そうじゃ。開発するということは、長い年月をかけて
つくられた自然を壊すことになる。

自然へ最大限の配慮をし、影響が出ないように監視し
ながら、できるだけ自然を守ることが大切じゃ。



自然を守るた
めに、何が
できるかな??



きちんと自然
が守られて
いるかな?

5. どんな取組をするの？



自然や文化を学び、心を育てる環境整備

- ▶ 南アルプス教育の推進
- ▶ 体験教育(修学旅行等)や合宿、企業研修の誘致、受入体制の確立
- ▶ 教育拠点の整備・充実と効果的な活用
- ▶ 調査研究活動拠点の検討

モニタリングの実施と情報の集約

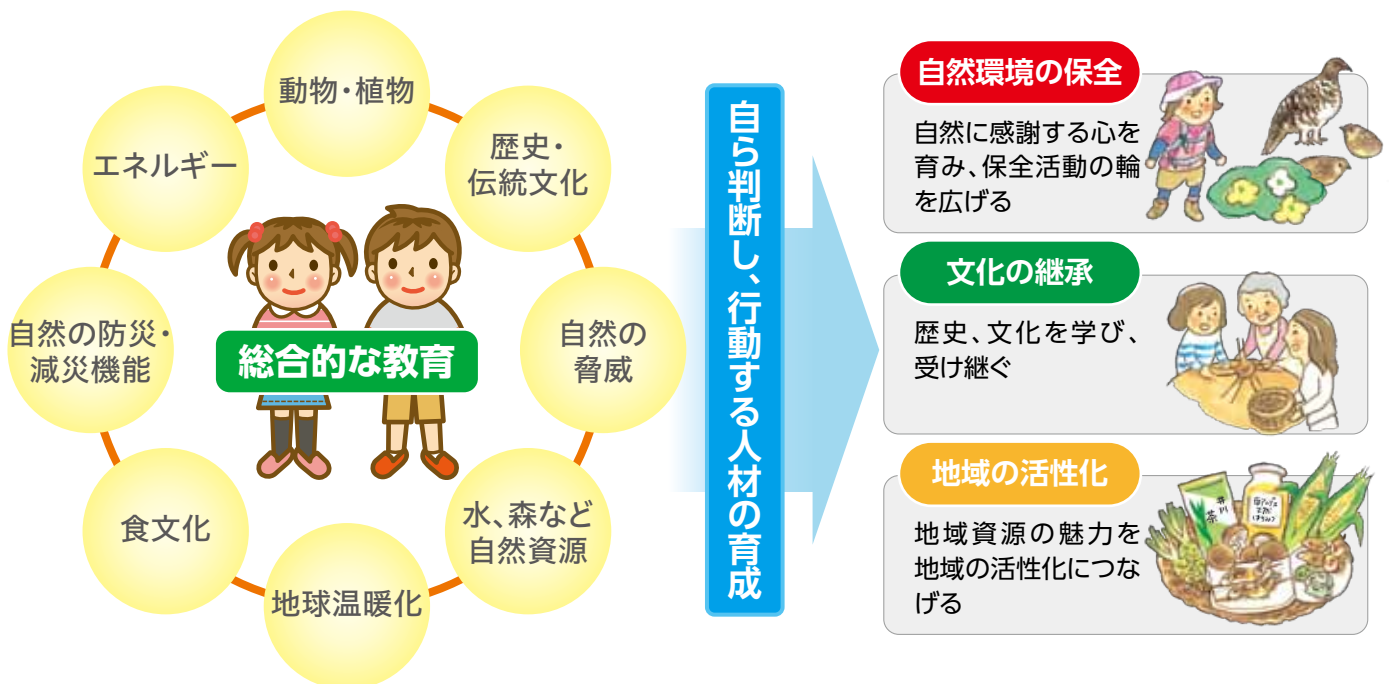
- ▶ モニタリングの実施
- ▶ 産官学民の連携によるモニタリング体制の構築
- ▶ 自然や文化に係る情報の集約と活用

主な取組

南アルプス教育

- 教育拠点における、教育プログラムの展開
- 南アルプスユネスコエコパークをテーマにした環境学習モデルの実施
- 自然、歴史、文化等に関する教育プログラムや教材の整備・充実
- ユネスコスクールへの加盟促進
- 自然体験、教育活動等を担うネイチャーガイド、コーディネーターの育成
- 教員研修の充実による南アルプス教育の推進
- 地域、事業者、大学、環境団体等との連携、ネットワーク化による教育活動の提供

<南アルプス、井川地域のフィールドや地域資源を活用した教育プログラム>



「自然を守る」「地域の文化を受け継ぐ」「地域を元気にする」ために何が出来るのか？
いろんなことを学ぶことで、総合的な視点で考え、行動できる人材が育っていくんじゃ。
これが、南アルプス教育なんじゃよ。



南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家では、たくさんの教育プログラムを実施し、自然体験の指導者の育成もしているのよ。企業の研修、クラブやサークルの合宿でも利用することができるわ。



教育の拠点



南アルプスユネスコエコパーク
井川自然の家



仲間と一緒に
目標にチャレンジ!
登山、ハイキング



静寂の中で一日を振り返る、感動のキャンプ
ファイヤー



秋いっぱい!
木の実や枝を使った
クラフトづくり



雑穀、在来作物
の伝統文化を体験



ころんだ分だけ
上達する
スキー教室

人は、自然とのふれあいや体験により感性が養われ、生きる力を育むんじや。



主な取組

モニタリング

- 自然環境や生活環境、教育、歴史、文化、社会状況等の変化の把握
- 産官学民の連携による継続的なモニタリング体制の構築
- 自然環境や歴史、文化に関する情報の集約と活用

<モニタリング内容(一部)>

生活環境

- ・ 大気物質や気温
- ・ 河川の水質、水温、pH等
- ・ 騒音・振動

大気質調査



教育

- ・ 南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家利用者数
- ・ エコツアーリズムの活動状況
- ・ ユネスコスクールへの加盟状況

環境教育



自然環境

- ・ 動物の生息状況
- ・ 植物の生育状況
- ・ ライチョウの生息状況
- ・ 自然景観

鳥類調査



社会状況

- ・ 登山小屋の利用者数
- ・ 井川地域の入込客数
- ・ 井川地域の人口及び高齢化率

井川地域



いろんな調査によって、暮らしと自然の良いバランスがとれているか確認することができるんじや。



ずっと見守っていくことが重要ね。
調査結果は、環境教育やエコツアーリズムにも活かしていきたいわね。



5. どんな取組をするの？



地域の魅力の磨き上げと地域振興

- ▶ 地域資源のブランド化と販路開拓の支援
- ▶ 地域資源を活かした新たなプログラム・コースの開発
- ▶ 積極的な情報発信
- ▶ 地域資源の持続可能な利用

将来を担う人材育成と受入体制・環境づくり

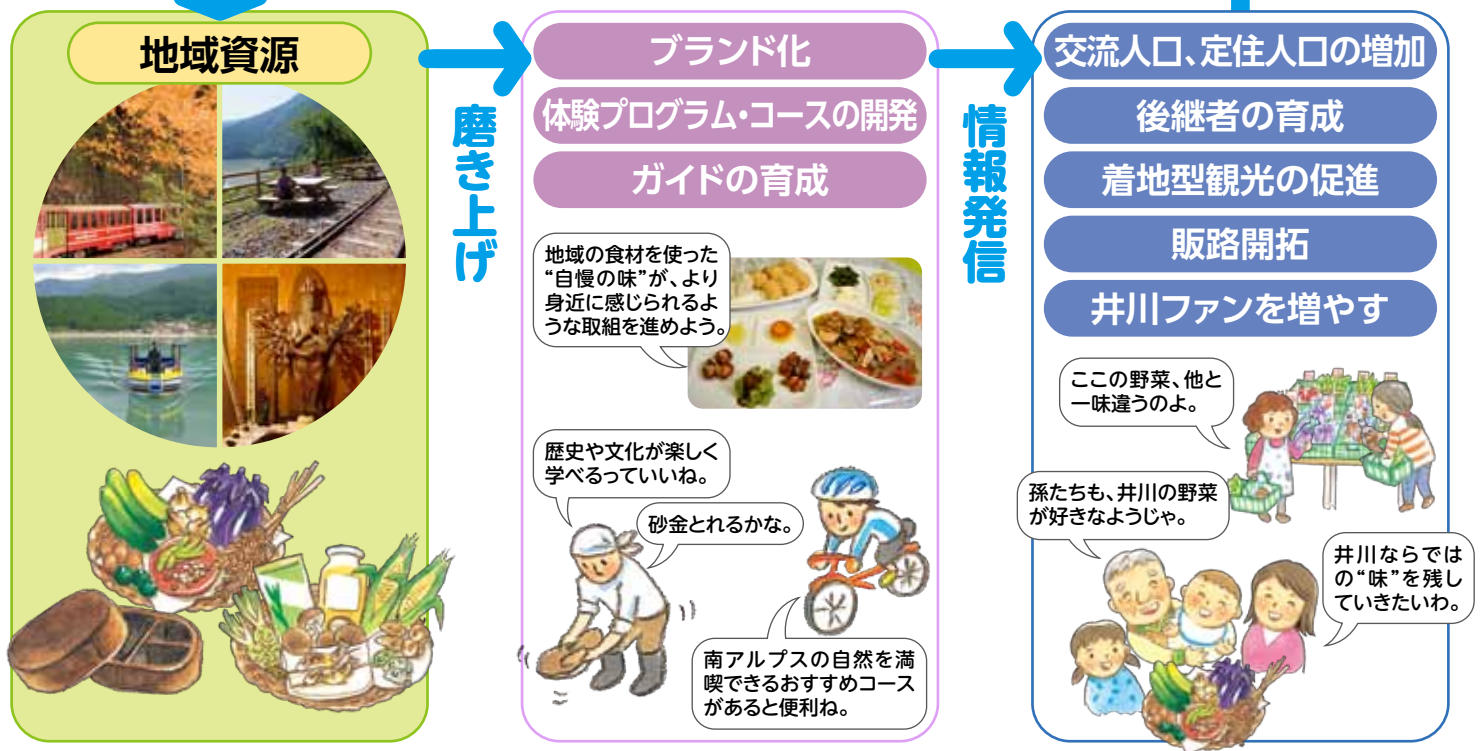
- ▶ 地域資源をつなげる人材の育成
- ▶ 地域の担い手育成
- ▶ 交流人口の増加
- ▶ 観光地としてのレベルアップ
- ▶ 交通アクセスの向上
- ▶ 地域住民や来訪者の安全性・利便性・快適性の確保

主な取組

地域資源の磨き上げ

- 地域住民や関係団体・企業が進める地域活性化の取組支援
- 観光プログラムや周遊コースの開発
- 井川地域を拠点とする登山道の新設
- 地域資源の価値、魅力の発信

「地域の持続的な発展」につながる魅力ある地域づくり



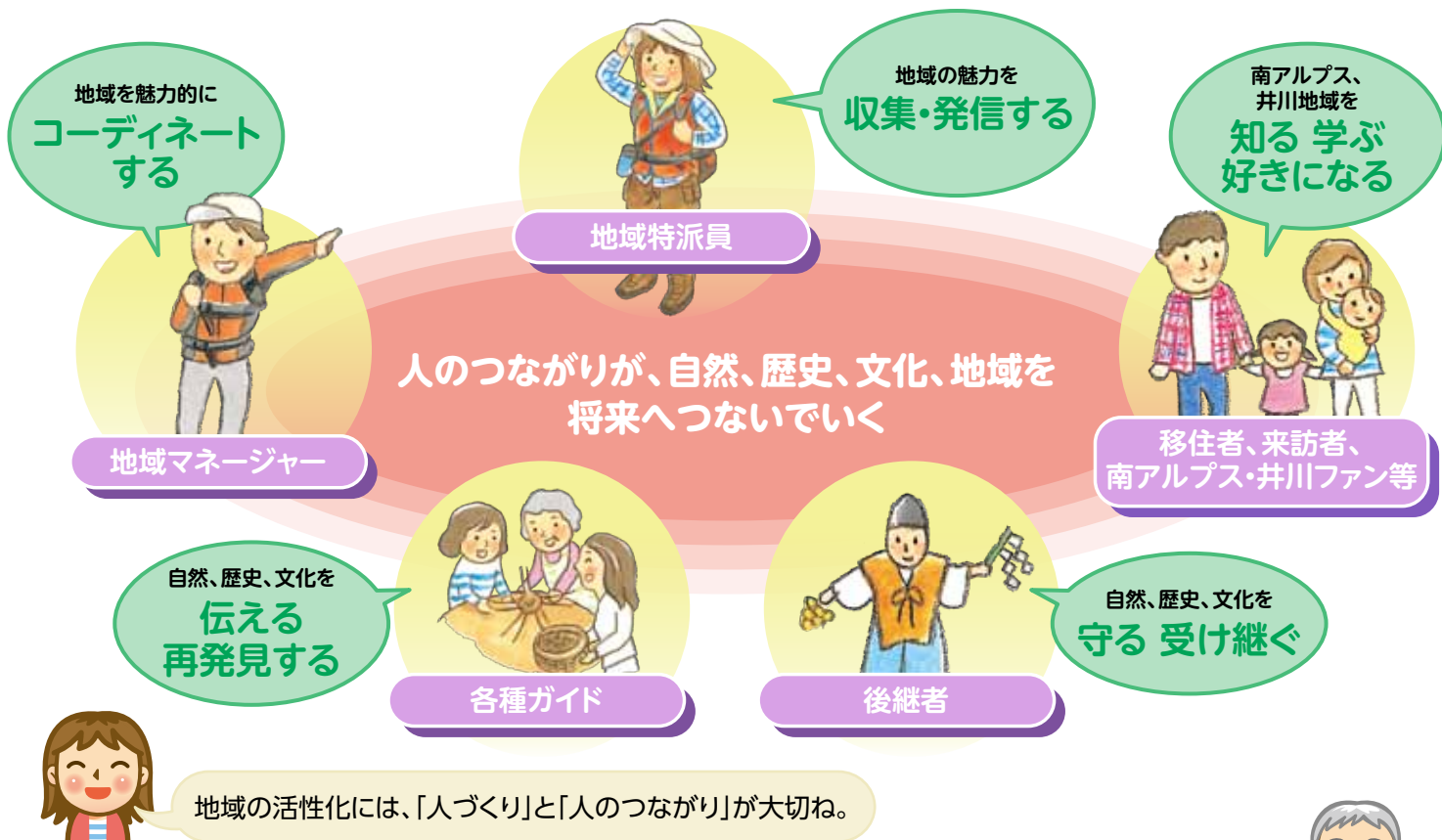
ひとつひとつの地域資源を大切に、磨き上げることで、新しい魅力を生み出すんじゃ。この魅力の発信が、地域の元気につながるんじゃ。



主な取組

地域の人材育成

- 地域マネージャーや地域特派員、ガイドの育成
- 定住人口増加のための移住環境の整備
- 伝統文化等の知識・技術の継承に向けた環境整備



“人”によって、地域の魅力が受け継がれていく。「地域づくり」は「人づくり」なんじゃ。

主な取組

交流人口の増加

- 10市町村の連携による普及啓発
- 川根本町をはじめ、広域連携によるイベントの開催や国内外への情報発信
- 拠点施設の整備・充実



5. どんな取組をするの？



国内外への積極的な情報発信とオール静岡による意識醸成

- ▶ 国内外への積極的な情報発信
- ▶ 国際対応
- ▶ オール静岡による意識醸成

産官学民協働による管理運営体制の構築

- ▶ 南アルプスユネスコエコパーク全体の管理運営体制の構築
- ▶ 静岡県、川根本町等との連携体制の構築

主な取組

情報発信、意識醸成

- 10市町村連携による、国内外へのプロモーション活動の推進
- 海外からの来訪者の誘致、情報の多言語化
- 南アルプス・井川地域を身近に感じる環境づくり
- 南アルプスの自然に感謝する心の醸成



南アルプスから駿河湾へとつながる自然の恩恵によって、わしらは暮らしを営んでいるんじゃ。身近な自然だけじゃなく、南アルプスから広がる静岡の雄大な自然を感じ、恵みに感謝して、みんなでこれを大切にしていきたいのう。



主な取組

連携体制・管理運営体制の構築

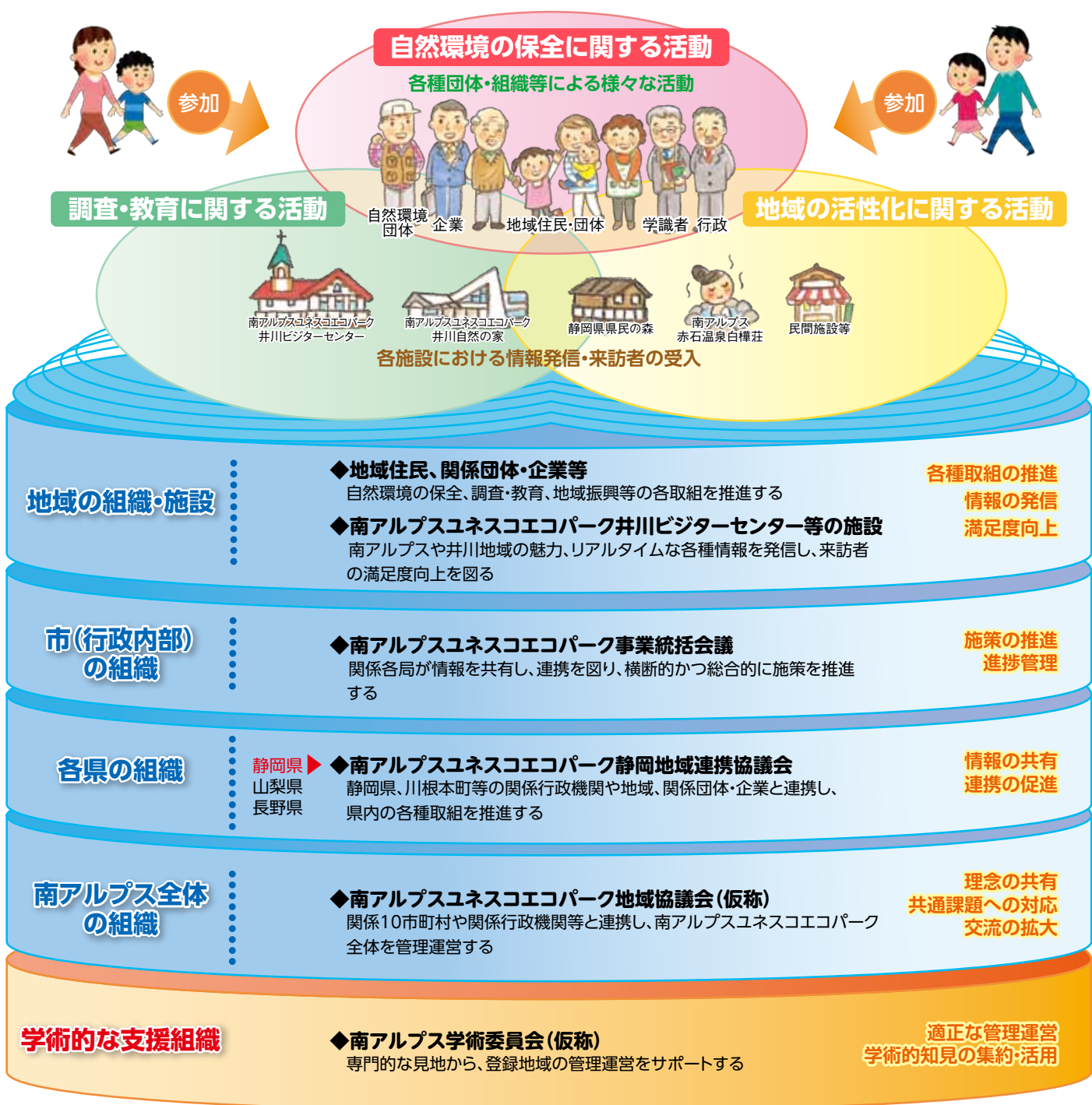
- 南アルプスユネスコエコパーク全体の管理運営体制の構築
- 静岡県、川根本町、学識経験者等との連携体制の構築



ユネスコエコパークの様々な取組をずっと続けていくためには、どうしたらいいのかな？

地域住民や行政だけでなく、企業、関係団体、学識経験者、市民など、いろいろな人が取組へ参加することが大切じゃ。

これを支え、促すため、市の行政内部や静岡県域、南アルプス全域でそれぞれ組織を作っておる。みんな考え、行動していこう、ということじゃな。



自然や歴史・伝統文化、地域のイベントを紹介するぞ。



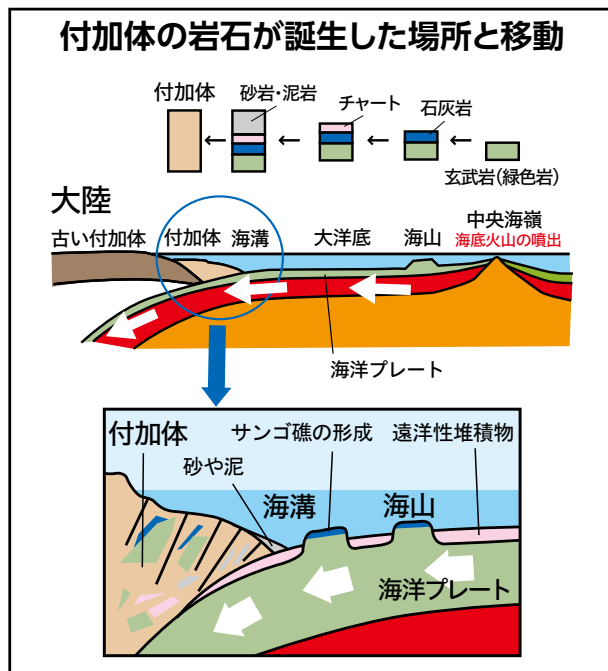
地形地質

南アルプスの成り立ち

南アルプスの大部分は、“付加体”が陸上に持ち上げられることによって形成されました。付加体は、海洋プレートの移動によって、海洋プレート上の様々な堆積物や岩石と、陸から運ばれた砂泥が混じりあいながら大陸に押し付けられて形成されます。

付加体には、^{ほうさんちゆう}放散虫の死がい^{たい}が堆積して形成されるチャート、海底噴火により形成される玄武岩、サンゴ礁を構成する石灰岩など、海洋プレート上に存在していた岩石が含まれています。

南アルプスでは1億年前から2,000万年前に形成されたこうした岩石を観察することができます。



赤色チャート
(塩見岳天狗岩付近)



枕状溶岩
(塩見岳天狗岩付近)



メランジュ
(赤石沢)

位置図



他にもたくさんの地形地質を見ることができるよ。詳しくは本編P16~を見てね。

多様な地形地質が織りなす景観

しゅうひょうがせいがんかい

周氷河性岩塊(岩海)斜面

森林が発達する限界より上の山頂部や山腹に見られる大小の角張った岩石が堆積している斜面で、海原のように岩石が広がる景観が広がります。



農鳥岳南の岩塊(岩海)斜面

けんこく

カール(圏谷)

氷河が自らの重みで移動する際、地面を削ることのできたお椀形の地形で、高山帯で見られる代表的な氷河地形です。

日本では、氷河期に形成されたカールを見ることができます。



赤石小屋から見た前岳南東カールと中岳南東カール

こうぞうど

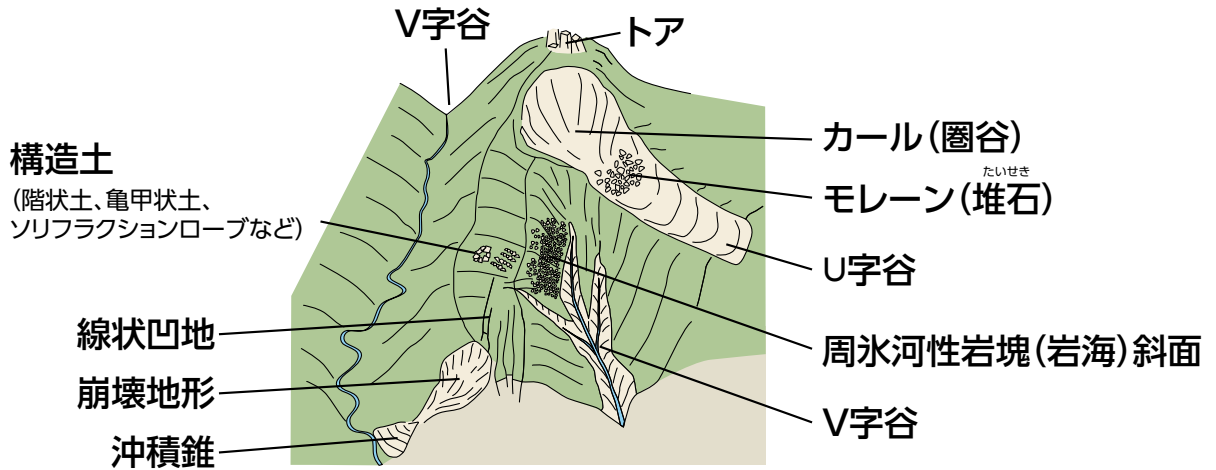
構造土(階状土、亀甲状土、アースハンモック)

ソリフラクションローブなど

寒冷地では、岩石表面の水分が凍ったり溶けたりを繰り返すため、岩石が割れて破片ができます。これが移動して様々な模様(構造土)をつくっています。



センジヶ原のアースハンモック



おうち

線状凹地

山の稜線に並行する凹地です。山地崩壊(山崩れ:雨水が地中にしみ込んだり、地震などにより、山の斜面などが突然崩れ落ちる現象)の初期過程です。



西農鳥岳から間ノ岳を望む(何重もの線状凹地)

ほうかい

ちゅうせきすい

崩壊地形・沖積錐

崖崩れなどが続く場所のことで、上部は土砂や岩石が崩落した崖、下部は岩石の破片が積もった沖積錐ができます。



赤崩と沖積錐

こく

V字谷

河川が兩岸よりも川底を深く侵食するため、河川の横断面がV字型の谷底の狭い谷が形成されます。

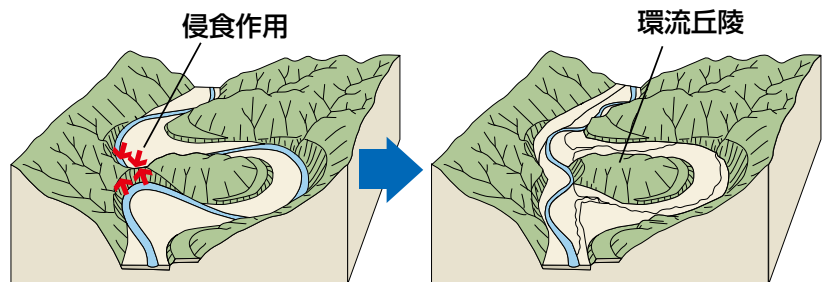


中盛丸山から見た赤石沢のV字谷

大井川上流は、峡谷を河川が曲がりくねって流れています(穿入蛇行)。

この蛇行が侵食作用によって切断されると、環流丘陵ができます。これを河川争奪と言います。

穿入蛇行は、大井川特有の景観で、接阻峡、新井川溪谷、二軒小屋周辺で見ることができます。



せんにゅう

穿入蛇行する河川



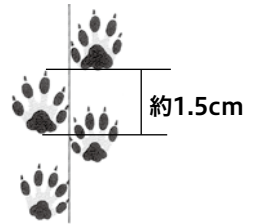
ツキノワグマ



- ①ブナ、ミズナラの落葉広葉樹林(標高1,000~1,500m)
- ②約110~130cm
- ③主食は植物で、昆虫類やサワガニなども食べます。秋はどんぐり等を大量に食べて脂肪を蓄え冬眠に備えます。
- ④普段は茂みや岩の下などで休んでおり、夕方から活動します。



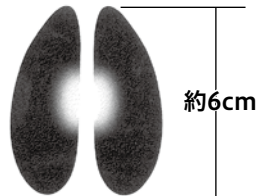
ホンドオコジョ



- ①亜高山~高山帯(標高1,800m以上)
- ②約20cm
- ③ネズミ類、小鳥、鳥の卵、カエル、昆虫などを食べます。
- ④岩の割れ目、木の根などの穴に巣をつくります。
- ⑤夏毛は茶色、冬毛は白色です。南アルプス周辺が生息の南限になっています。



ニホンカモシカ



- ①ブナ、ミズナラの落葉広葉樹林、針広混交林(標高1,000~2,600m)
- ②約100~120cm
- ③朝夕活発に行動します。
- ④各種の木の葉や草、ササ類などを食べます。
- ⑤国の特別天然記念物に指定されています。単独で生活することが多く、溜糞ためふんをする習性があります。



ニホンジカ



- ①落葉広葉樹林、寒帯草原などの多様な生息環境(標高1,000~2,600m付近)
- ②約100~200cm(オス)
- ③草本や低木の葉、ブナやカシの実を食べます。冬は樹皮や小枝も食べます。
- ④昼間は深い茂みの中に潜んで、夜になると行動します。



ホンドキツネ



- ①平地から標高3,000mの高山帯まで様々な環境で生活
- ②約100~115cm
- ③主食はノネズミ、ノウサギ、鳥、昆虫類などで、植物質のものもよく食べます。
- ④子育ての時期に穴を掘っていくつかの巣を作り、子を移動させて守ります。



ニホンザル



- ①ブナ、ミズナラの落葉広葉樹林(標高1,000~1,500m)
- ②約47~60cm
- ③果実や若葉等の植物を中心に、昆虫や卵も食べます。
- ④群れで生活します。3~15km²の範囲に何箇所か泊まり場があり、その樹上で眠ります。

井川地域周辺ではこんな動物も見られるよ!!



ニホンリス



テン



タヌキ



アナグマ



ニホンイノシシ



- ①生息地 ②体長 ③食性 ④営巣場所 ⑤その他特徴

- ①標高2,000m以上の高山帯
- ②約37cm(オス)
- ③高山植物の葉・花・種子、昆虫などを食べます。
- ④ハイマツやシャクナゲ類の根本に産卵用の巣を作ります。
- ⑤オスは繁殖期にしわがれ声で「ゴオオ ガアオ ガアオ」と鳴いて求愛やなわばりを誇示します。



ライチョウ

- ①標高1,800m以上(亜高山帯～高山帯)
- ②約4.6～6.6cm
- ③昆虫類、クモ類、ジムカデ類などを食べます。
- ④主にハイマツの下の落葉層や腐食層などに生息しています。
- ⑤南アルプスが分布の南限です。



アズミトガリネズミ

- ①大井川の最上流域
- ②約25cm
- ③肉食性で、動物プランクトン、水生昆虫、他の魚、河畔林から落下する虫などを食べます。
- ⑤大井川上流域はヤマトイワナとニッコウイワナが生息します。



ヤマトイワナ

- ①標高500～1,000mの流水環境
- ②約10cm
- ⑤繁殖や習性などは全く不明です。赤石山脈南部のみで確認され、日本固有種です。



アカイシサンショウウオ

- ①光岳付近の高山にあるお花畑や稜線部のガンコウラン群落
- ②約2.5～3cm
- ⑤翅が小さいため、遠くまで移動できません。そのため、この地域にしか生息していない貴重なバッタです。



テカリダケフキバッタ

- ①標高1,500～2,500m
- ②前翅長3～4cm
- ③幼虫の食草はヒロハヘビノボラス、メギです。
- ⑤日本では本州中央山地のみに分布し、大井川上流が分布の南限です。



ミヤマシロチョウ

- ①生息地 ②樹高・草丈 ③花・果実 ④その他特徴

- ①標高2,600m以上の高山帯
- ②樹高は1m内外
- ③4～5cmの小さな松ぼっくりをつけ、ホシガラス等の動物に食べられることで種子が広がります。
- ④南アルプスは東アジア地域の南限です。



ハイマツ

- ①標高2,600m以上の高山帯(岩上の砂土が溜まった平らな場所)
- ②草丈10～20cm
- ③先がすぼまった釣鐘状の花を7～8月に咲かせます。(多年草)
- ④日本では南アルプスのみに生育します。



タカネマンテマ

- ①標高2,600m以上の高山帯(岩礫の多い草地や岩上のやや湿った場所)
- ②草丈5～30cm
- ③6月～9月に花が咲き、花穂の下部はむかごになります。(多年草)



ムカゴトラノオ

- ①標高1,800m(亜高山帯から高山帯の日当たりの良い岩礫地)
- ②草丈4～25cm
- ③葉の脇に赤いむかごがつかます。



ムカゴユキノシタ

- ①標高2,600m以上の高山帯(尾根周辺の砂礫混じりの草地)
- ②草丈5～30cm
- ③花は8月～9月に咲きます。(一年草、越年草)
- ④本州中部に分布する日本固有種です。



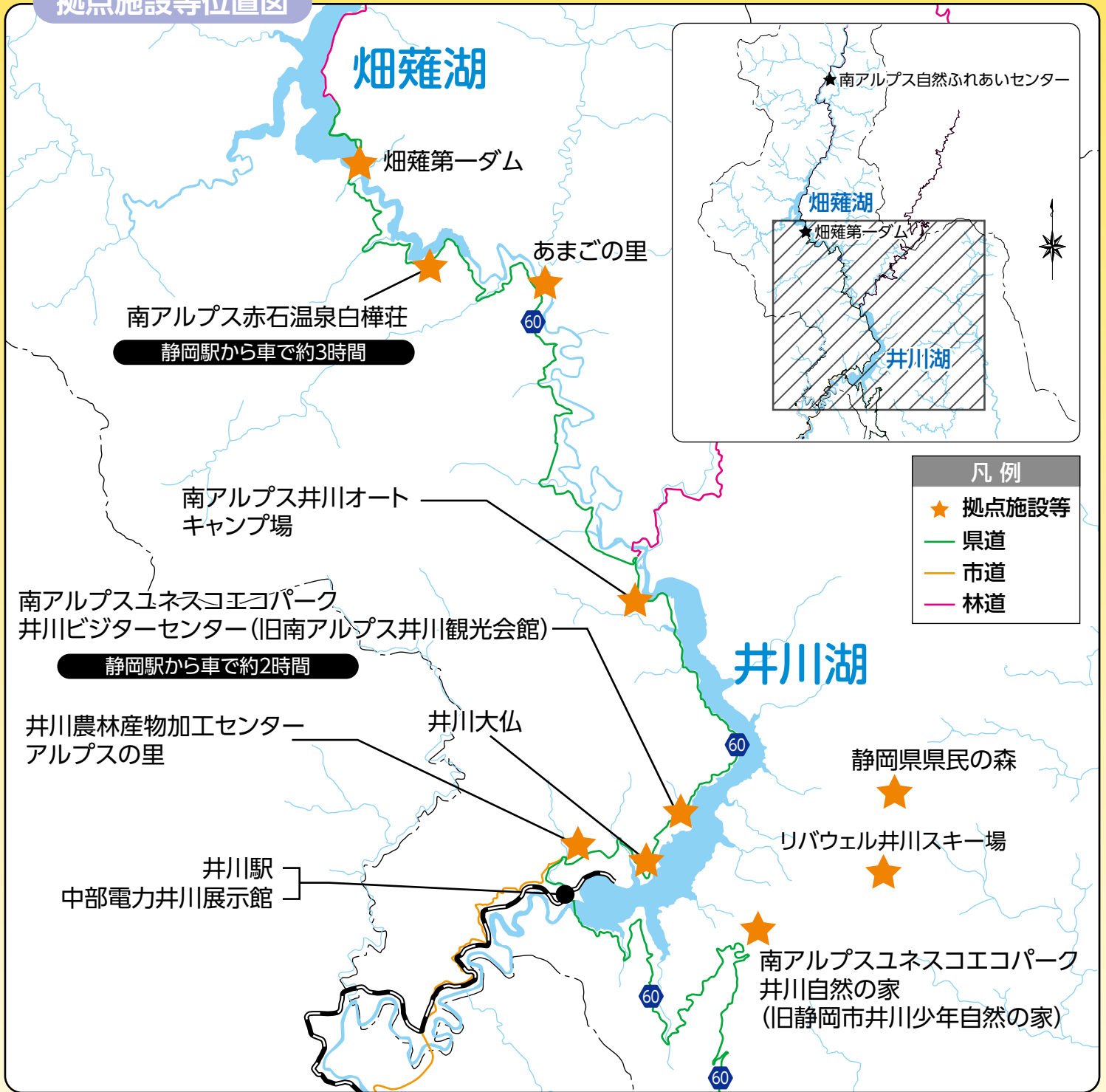
アカイシリンドウ

- ①標高2,600m以上の高山帯(風衝地)
- ②草丈5～10cm
- ③花は8月～9月に咲きます。(1～2年草)
- ④三伏峠で記録されたのでこの名前がつかました。南アルプスと八ヶ岳に生育する日本固有種です。



サンプリンドウ

拠点施設等位置図



歴史的建造物

中野観音堂、大日院

千手観音立像など計5体の仏像が安置されている御堂。観音堂のお祭り(1/6)では、芋田楽が振舞われ、仏像の御開帳も行われます。



曹洞宗如仲派龍泉院

山中にまれに見る格式の高い寺院で、末寺が9つもありました。裏手に、龍泉院の開基で徳川家康に仕えて数々の武勲をあげた安部大蔵の墓があり、大般若経600巻や、徳川家の茶壺などを所蔵しています。



諏訪神社

かつて井川で勢力を誇った海野氏のショイガミとして1238年に諏訪大社から勧請されたと伝えられています。また信州から移り住んできた先祖の歴史を伝える伝承がいくつも存在しています。



井川神社

井川小学校隣、井川湖を見下ろす木立の中にあります。ダム建設によって大井神社をはじめとする五社を合祀し昭和32年にこの地に新設されました。



主な伝統行事・イベントカレンダー

月 日	行事・イベント名	概要	主な開催場所	主催・問合せ
1月 1日	小河内のヒヨンドリ	元旦の早朝、イセソーホーなる人物が曲物の技術とともに伝えたと言われる独特の節回しによる歌が歌われます。年の初めに火伏(火による災いを防ぐ)をし、一年の安泰を願う行事です。(静岡市地域登録文化財)	小河内集落内	主催:ひよんどり保存会 問合せ:井川観光協会 ☎054-260-2377
6日	中野(御堂山)観音堂のお籠り	一年に一度、御本尊である千手観音立像(県指定有形文化財)が御開帳される日です。参詣者には芋田楽が振舞われます。	中野観音堂	井川観光協会 ☎054-260-2377
2月 月上旬	雪まつり	雪上ボーリングをはじめ、家族で楽しめるイベントが盛りだくさんです。	リバウエル井川スキー場	同左 ☎054-260-2316
4月 3日	井川神社例祭	春を迎えるお祭りです。神楽を奉納し、神様を迎えます。	井川神社	井川観光協会 ☎054-260-2377
29日	赤石温泉まつり	井川の地場産品が販売され、餅つき大会やあまごの塩焼きが楽しめます。	南アルプス赤石温泉白樺荘	同左 ☎054-260-2021
7月 中旬	南アルプス山開き	登山者の安全祈願と遭難者の追悼を行います。また、井川小学校の子どもたちがアルペンホルンを奏でます。	畑薙第一ダム	主催:井川観光協会・井川山岳会 問合せ:井川観光協会 ☎054-260-2377
8月 26日 27日	ヤマメ祭り	“ヤマメズシ”が作られ、奉納されます。材料となる粟は焼畑により栽培され、ヤマメは明神谷という神聖な谷で釣られます。山村の生活文化を象徴する貴重なお祭りです。(静岡県指定無形民俗文化財)	田代諏訪神社	主催:田代諏訪神社 問合せ:井川観光協会 ☎054-260-2377
9月 中旬	あまご祭り	釣り大会やあまごの掴み取り、フィッシングスクールが開催されます。	あまごの里	井川漁業協同組合 ☎054-260-2519
10月 中旬	井川もみじマラソン	富士山の雪景色を眺めながら、紅葉まっさかりの井川を満喫できるマラソンです。	スタート/リバウエル井川スキー場	井川観光協会 ☎054-260-2377
下旬	井川大仏秋の例祭	井川大仏は、井川診療所の歯科医が4年の歳月をかけて建立した大仏です。例祭では、福引や餅まきも行われます。(高さ11m、昭和55年11月に開眼)	井川大仏	井川観光協会 ☎054-260-2377
下旬	駿府お茶壺道中行列	徳川家康が、井川で保管したお茶を駿府城に運ばせお茶会を開いたという故事にちなみ、井川から久能山東照宮までお茶壺が運ばれます。	井川〜久能山東照宮	駿府本山お茶まつり委員会事務局 ☎054-288-8440
11月 3日	井川神社例祭 井川ダム祭り	井川神社の秋の例祭です。朝市が開催され井川神社では神楽が奉納されます。	井川神社	井川観光協会 ☎054-260-2377

他にも楽しいイベントはたくさんあるよ!!詳しくは、ホームページを見てね♪



●オクシズ



オクシズ

検索

●井川情報ステーション



井川情報ステーション

検索

●南プス



南プス

検索



塩見岳 間ノ岳

烏帽子岳 蝙蝠岳

小河内岳 荒川三山

荒川岳(中岳) 東岳(悪沢岳)

荒川岳(前岳) 聖岳(前聖岳) 赤石岳

上河内岳

易老岳

茶臼岳

畑薙山

イザルガ岳

光岳

大無間山

小無間山

川根本町

静岡市

平成27年3月策定(平成28年3月一部改正)
 静岡市環境局 環境創造課
 〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号
 TEL.054-221-1357 FAX.054-205-2666